

事 務 連 絡

平成19年7月27日

各 { 都道府県 }
 { 政令市 } 衛生主管部(局) 家庭用品安全対策主管課 御中
 { 特別区 }

厚生労働省医薬食品局審査管理課

化学物質安全対策室

デスクマットの使用に伴う重大製品事故について(第6報)

今般、消費生活用製品安全法第35条第3項の規定に基づき、別添のとおりデスクマットの使用に伴う重大製品事故が発生した旨の通知がありましたので、お知らせします。

前報でお知らせしたとおり、既に製造元では対象製品の製造・出荷を停止し、事実関係を公表の上、昨年10月から製品の回収等を行っており、また6月29日の当室からの要請を受けて、不特定多数の使用者への注意喚起と当該製品の回収等の強化が図られています。

貴課におかれても、消費者への周知・注意喚起等について特段のご配慮をお願いします。



平成19年7月27日

厚生労働省医薬食品局

審査管理課化学物質安全対策室

室長 山本順二(2421)

担当 吉田(2910)、下位(2424)

電話代表 03-5253-1111

デスクマットの使用に伴う重大製品事故について(第6報)

標記については、第1報から第5報をそれぞれ、6月1日、6月7日、6月15日、6月22日、6月29日に発表したところですが、今般、別紙のとおり、消費生活用製品安全法第35条第3項の規定*に基づき、同じ製品の使用に伴う新たな重大製品事故の発生事例について、経済産業省から通知がありました。

前報でお知らせしたとおり、既に製造元では対象製品の製造・出荷を停止し、事実関係を公表の上、昨年10月から製品の回収等を行っており、また6月29日の当室からの要請を受けて、不特定多数の使用者への注意喚起と当該製品の回収等の強化が図られています。

当室では、都道府県等にも情報を提供し、改めて消費者への周知・注意喚起について協力を要請しました。

※ 平成19年5月14日に改正法が施行され、消費生活用製品の使用に伴う重大製品事故について事業者から経済産業省への報告が開始されました。報告された重大製品事故のうち、製品に使用されている化学物質が事故原因と考えられるものについては、厚生労働省医薬食品局化学物質安全対策室に通知されます。当室では、今後も経済産業省から重大製品事故報告の通知がある場合に、危険の回避に必要な事項等について適宜情報提供を行っていくことにしています。

別紙 事故内容等

(連絡先)

コクヨお客様相談室

フリーダイヤル 0120-550146(特設ダイヤル)

0120-201594

受付時間:月曜日～金曜日(祝祭日を除く)9時～18時

URL <http://www.kokuyo.co.jp/info/>

- ・ デスクマットのように長時間接触する可能性のある製品におけるTCMSPの使用は確認されていないが、一般に、製品を使用することによる身体に異常を感じた場合には、当該製品の使用は極力避けることが望ましい。使用を継続すると、症状の悪化を招き、後の治療が長引く可能性があり得る。症状が改善しない場合には専門医の診療を受けること。再度使用して同様の症状が発現するような場合には同一の素材のものの使用は以後避ける必要があります。
- ・ 使用前には必ず注意書きをよく読み、正しい使用方法を守ることや、化学物質に対して感受性が高くなっているアレルギー患者等では、自分ごとどのような化学物質に反応する可能性があるのかを認識し、使用する製品の素材について注意を払うことも大切です。

別紙 事故内容等

第1報～第5報にてお知らせ済の事例

製品名： デスクマット

製造事業者 コクヨS&T(株)「抗菌デスクマット(非転写・抗菌仕様)」

		報告事例の概要				
No.	手続日 (括弧内は報告事例を企業が認識した日)	事故発生日	事故発生場所	被害分類	事故概要	
1	平成19年5月25日 (平成19年5月15日)	平成11年7月	青森県	負傷又は疾病(治療に要する期間が30日以上)	被害者 20歳代女性 当該製品を使用していたところ、アレルギー一性接触皮膚炎を発症した	
2	平成19年5月31日 (平成19年5月21日)	平成17年10月	滋賀県	負傷又は疾病(治療に要する期間が30日以上)	被害者 男性 当該製品を使用していたところ、アレルギー一性接触皮膚炎を発症した	
3	平成19年5月31日 (平成19年5月21日)	平成17年	東京都	負傷又は疾病(治療に要する期間が30日以上)	被害者 男性 当該製品を使用していたところ、アレルギー一性接触皮膚炎を発症した	
4	平成19年5月31日 (平成19年5月21日)	平成19年2月	和歌山県	負傷又は疾病(治療に要する期間が30日以上)	被害者 女性 当該製品を使用していたところ、アレルギー一性接触皮膚炎を発症した	
5	平成19年5月31日 (平成19年5月21日)	平成16年	愛媛県	負傷又は疾病(治療に要する期間が30日以上)	被害者 男性 当該製品を使用していたところ、アレルギー一性接触皮膚炎を発症した	
6	平成19年5月31日 (平成19年5月22日)	平成12年春	宮城県	負傷又は疾病(治療に要する期間が30日以上)	被害者 女性 当該製品を使用していたところ、アレルギー一性接触皮膚炎を発症した	
7	平成19年5月31日 (平成19年5月22日)	平成15年	兵庫県	負傷又は疾病(治療に要する期間が30日以上)	被害者 女性 当該製品を使用していたところ、アレルギー一性接触皮膚炎を発症した	

取消線は、事業者による追跡調査の結果、報告の対象でないことが判明したものを示す。

別紙 事故内容等

製品名： デスクマット 製造事業者 コクヨS&T(株)「抗菌デスクマット(非転写・抗菌仕様)」		報告事例の概要			
No.	経済産業省から情報を入 手した日 (括弧内は報告事例を企 業が認識した日)	事故発生日	事故発生場所	被害分類	事故概要
8	平成19年5月31日 (平成19年5月22日)	平成17年冬	山口県	負傷又は疾病(治療 に要する期間が30 日以上)	被害者 女性 当該製品を使用していたところ、アレルギー 性接触皮膚炎を発症した
9	平成19年5月31日 (平成19年5月22日)	平成16年	島根県	負傷又は疾病(治療 に要する期間が30 日以上)	被害者 男性 当該製品を使用していたところ、アレルギー 性接触皮膚炎を発症した
10	平成19年5月31日 (平成19年5月22日)	平成18年夏	東京都	負傷又は疾病(治療 に要する期間が30 日以上)	被害者 男性 当該製品を使用していたところ、アレルギー 性接触皮膚炎を発症した
11	平成19年5月31日 (平成19年5月23日)	不明	大阪府	負傷又は疾病(治療 に要する期間が30 日以上)	被害者 女性 当該製品を使用していたところ、アレルギー 性接触皮膚炎を発症した
12	平成19年6月7日 (平成19年5月29日)	平成12年頃	福島県	負傷又は疾病(治療 に要する期間が30 日以上)	被害者 男性 当該製品を使用していたところ、アレルギー 性接触皮膚炎を発症した
13	平成19年6月7日 (平成19年5月30日)	平成13年頃	神奈川県	負傷又は疾病(治療 に要する期間が30 日以上)	被害者 女性 当該製品を使用していたところ、アレルギー 性接触皮膚炎を発症した
14	平成19年6月7日 (平成19年5月30日)	平成15年頃	広島県	負傷又は疾病(治療 に要する期間が30 日以上)	被害者 男性 当該製品を使用していたところ、アレルギー 性接触皮膚炎を発症した

取消線は、事業者による追跡調査の結果、報告の対象でないことが判明したもの

別紙 事故内容等

製品名： デスクマット
 製造事業者 コクヨS&T(株)「抗菌デスクマット『デスクマット(非転写・抗菌仕様)』」

		報告事例の概要				
No.	経済産業省から情報を入 手した日 (括弧内は報告事例を企 業が認識した日)	事故発生日	事故発生場所	被害分類	被害者	事故概要
15	平成19年6月7日 (平成19年5月30日)	平成12年頃	広島県	負傷又は疾病(治療 に要する期間が30 日以上)	被害者 女性 職場で 当該製品を使用していたところ、アレルギー 一性接触皮膚炎を発症した	
16	平成19年6月7日 (平成19年5月30日)	平成17年頃	鳥取県	負傷又は疾病(治療 に要する期間が30 日以上)	被害者 男性 職場で 当該製品を使用していたところ、アレルギー 一性接触皮膚炎を発症した	
17	平成19年6月8日 (平成19年5月31日)	不明	北海道	負傷又は疾病(治療 に要する期間が30 日以上)	被害者 女性 職場で 当該製品を使用していたところ、アレルギー 一性接触皮膚炎を発症した	
18	平成19年6月8日 (平成19年5月31日)	不明	北海道	負傷又は疾病(治療 に要する期間が30 日以上)	被害者 男性 職場で 当該製品を使用していたところ、アレルギー 一性接触皮膚炎を発症した	
19	平成19年6月8日 (平成19年5月31日)	平成18年頃	熊本県	負傷又は疾病(治療 に要する期間が30 日以上)	被害者 男性 職場で 当該製品を使用していたところ、アレルギー 一性接触皮膚炎を発症した	
20	平成19年6月8日 (平成19年6月1日)	平成18年頃	宮崎県	負傷又は疾病(治療 に要する期間が30 日以上)	被害者 男性 職場で 当該製品を使用していたところ、アレルギー 一性接触皮膚炎を発症した	
21	平成19年6月14日 (平成19年6月4日)	平成19年4月下旬	大阪府	負傷又は疾病(治療 に要する期間が30 日以上)	被害者 男性 職場で 当該製品を使用していたところ、アレルギー 一性接触皮膚炎を発症した	

別紙 事故内容等

製品名： デスクマット 製造事業者 コクヨS&T(株)「抗菌デスクマット軟質(非転写・抗菌仕様)」						
報告事例の概要						
No.	手続 （括弧内は報告事例を企業が認識した日）	事故発生日	事故発生場所	被害分類	被害者	事故概要
22	平成19年6月14日 (平成19年6月4日)	平成16年頃	大阪府	負傷又は疾病(治療に要する期間が30日以上)	被害者 女性	職場で 当該製品を使用していたところ、アレルギー性接触皮膚炎を発症した
23	平成19年6月14日 (平成19年6月4日)	平成13年頃	宮崎県	負傷又は疾病(治療に要する期間が30日以上)	被害者 男性	職場で 当該製品を使用していたところ、アレルギー性接触皮膚炎を発症した
24	平成19年6月14日 (平成19年6月4日)	平成18年頃	東京都	負傷又は疾病(治療に要する期間が30日以上)	被害者 男性	職場で 当該製品を使用していたところ、アレルギー性接触皮膚炎を発症した
25	平成19年6月14日 (平成19年6月4日)	平成14年頃	北海道	負傷又は疾病(治療に要する期間が30日以上)	被害者 女性	職場で 当該製品を使用していたところ、アレルギー性接触皮膚炎を発症した
26	平成19年6月14日 (平成19年6月4日)	平成19年3月頃	長崎県	負傷又は疾病(治療に要する期間が30日以上)	被害者 男性	職場で 当該製品を使用していたところ、アレルギー性接触皮膚炎を発症した
27	平成19年6月14日 (平成19年6月4日)	平成11年	奈良県	負傷又は疾病(治療に要する期間が30日以上)	被害者 男性	職場で 当該製品を使用していたところ、アレルギー性接触皮膚炎を発症した
28	平成19年6月14日 (平成19年6月4日)	平成18年頃	東京都	負傷又は疾病(治療に要する期間が30日以上)	被害者 男性	職場で 当該製品を使用していたところ、アレルギー性接触皮膚炎を発症した

別紙 事故内容等

製品名： デスクマット

製造事業者 コクヨS&T(株)「抗菌デスクマット軟質(非転写・抗菌仕様)」

経済産業省から情報を入
手した日

報告事例の概要

(括弧内は報告事例を企
業が認識した日)

No.	事故発生日	事故発生場所	被害分類	事故概要
29	平成 19 年 6 月 18 日 (平成 19 年 6 月 5 日)	千葉県	負傷又は疾病(治療 に要する期間が 30 日以上)	被害者 男性 当該製品を使用していたところ、アレルギー 一性接触皮膚炎を発症した
30	平成 19 年 6 月 18 日 (平成 19 年 6 月 5 日)	熊本県	負傷又は疾病(治療 に要する期間が 30 日以上)	被害者 女性 当該製品を使用していたところ、アレルギー 一性接触皮膚炎を発症した
31	平成 19 年 6 月 18 日 (平成 19 年 6 月 5 日)	愛知県	負傷又は疾病(治療 に要する期間が 30 日以上)	被害者 女性 当該製品を使用していたところ、アレルギー 一性接触皮膚炎を発症した
32	平成 19 年 6 月 18 日 (平成 19 年 6 月 5 日)	栃木県	負傷又は疾病(治療 に要する期間が 30 日以上)	被害者 男性 当該製品を使用していたところ、アレルギー 一性接触皮膚炎を発症した
33	平成 19 年 6 月 18 日 (平成 19 年 6 月 6 日)	岩手県	負傷又は疾病(治療 に要する期間が 30 日以上)	被害者 女性 当該製品を使用していたところ、アレルギー 一性接触皮膚炎を発症した
34	平成 19 年 6 月 18 日 (平成 19 年 6 月 7 日)	広島県	負傷又は疾病(治療 に要する期間が 30 日以上)	被害者 男性 当該製品を使用していたところ、アレルギー 一性接触皮膚炎を発症した
35	平成 19 年 6 月 18 日 (平成 19 年 6 月 8 日)	熊本県	負傷又は疾病(治療 に要する期間が 30 日以上)	被害者 女性 当該製品を使用していたところ、アレルギー 一性接触皮膚炎を発症した

別紙 事故内容等

製品名： デスクマット 製造事業者 コケヨS&T(株)「抗菌デスクマット『デスクマット(非転写・抗菌仕様)』」					
報告事例の概要					
No.	経済産業省から情報を入 手した日 (括弧内は報告事例を企 業が認識した日)	事故発生日	事故発生場所	被害分類	事故概要
36	平成 19 年 6 月 22 日 (平成 19 年 6 月 12 日)	平成 14 年頃	東京都	負傷又は疾病(治療 に要する期間が 30 日以上)	被害者 男性 当該製品を使用していたところ、アレルギー 一性接触皮膚炎を発症した 職場で